

平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	南アフリカ開発共同体拠出金(SADC)(任意拠出金)			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度			担当課室	アフリカ第二課			課長 齋田 伸一	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅶー1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	SADC事務局からの要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	南部アフリカ共同体(SADC)は、政治的安定・着実な経済成長を達成し、豊富な天然・自然資源を有する域内15カ国が加盟し、域内経済社会開発、地域統合強化に取り組む南部アフリカ開発の中心的役割を担う重要な地域的枠組みである。我が国とSADCとの関係を強化するため、我が国としてSADCの機能強化を支援する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	SADCは年一回の定例首脳会合を始め、特別首脳会合等の開催により域内紛争解決にも積極的に取り組んでいるほか、各種会合・委員会・ワークショップ開催等活発な活動を行っている。本案件は我が国として、比較的小規模ながら本件拠出金を通じ、SADCの機能強化を目指す各種ワークショップ等の開催を支援することにより、SADCとの連携強化を図るもの。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	—	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—	—			
		計	2	2	—	2	2		
	執行額		0	2	—				
	執行率(%)		0.0%	100.0%	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	目標: SADC事務局及び地域のキャパシティ・ビルディング強化 実績: セミナー参加者数		成果実績	名	0	50	—	50	
			達成度	%	0	100	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	セミナーを1回以上開催		活動実績 (当初見込み)	回	0 (1回以上)	1 (1回以上)	— —	— (1回以上)	
単位当たりコスト	2 (百万円/1回)		算出根拠	セミナー開催にかかる諸費用をセミナー開催回数(1回以上)で割ったもの。					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	事業費	2,117	1,698						
計	2,117	1,698							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	昨年のリモート・センシングセンターのセミナーのように、SADCにとって裨益すると同時に我が国にとっても有意義な内容のセミナーを今後も追求していくことが重要。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	特に支出先の選定に問題があるとは考えていないが、競争性の確保については今後注意を払っていきたい。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	我が国からの拠出金は金額的には少ないが、SADCとの関係強化にとって必要かつ重要であり、今後も費用対効果を十分考慮した上で、事業の実施を進めていきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			